



ラリー北海道大会組織委員会

Rally Hokkaido Organising Committee

〒003-0022

北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9

ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com

Eメール: info@rally-hokkaido.com

Tel: +81-(0)11- 864-2003 Fax: +81-(0)11-864-1182

この書類は案内書として作成されており、規則的な効力はありません。特別規則書、公式通知にて規定された場合はそちらに従ってください。規則については、FIA 国際モータースポーツ競技規則 (FIA International Sporting Code)、FIA 地域ラリー選手権競技規定 (FIA Resional Rally Championship Regulations)、JAF 国内競技規則 (JAF National Sporting Regulations)、ラリー北海道の特別規則書および公式通知に従ってください。

警 告

選手、チーム、メディア、及び関係者全ては日本の交通法規を遵守しなければなりません。法令遵守の原則に則り、大会主催者は以下について警告します。

- 「FIA 地域ラリー選手権規定 20.4 条」に則り、交通違反者に対しては厳格に罰則を適用します。
- 違反者の来年以降のエントリーを受け付けない場合があります。
- 大会期間中、交通違反が発生した場合、大会の継続や今後の開催に重大な影響を与える可能性があります。

以上

海外からお越しになる方へ

日本には国際基準とは異なる交通規則が存在します。しかしそれらは厳密に遵守されなくてはなりません。特に下記には注意してください。

全体的に道路標識は国際基準と合致していますが、「止まれ」のサインだけは異なります。形状は逆三角形です（海外の「Give Way」標識に似ています）。

すべての車両は踏み切りで必ず停止しなくてはならず、通過する前に電車が来ていないことを確認しなければなりません。

特に標識で規制されていない場合は、町の中心部は時速 40km 以内で、その他の地域は時速 60km 以内で走行しなくてはなりません。高速道路の最高速度は、状況にもよりますが、時速 70km です。

また、海外からお越しになる方は、一般道を運転するのに日本で有効な免許証、および国際免許証について理解してはなりません。国際免許証は「1949 年ジュネーブ交通条約」下で発行されたものでなければならず、国際免許証の表紙に「1949 年ジュネーブ交通条約」と明記されています。ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、台湾の免許証所持者は JAF で免許証の翻訳が必要になります。その翻訳したものと免許証を同時に所持することでジュネーブ条約下で発行された国際免許証と同じ効力を持ちます。以上の免許証以外を所持している方は「外免切替」が必要になります。

外面切替の詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

詳細については第 8 章をご覧ください。

目次

1 はじめに 歓迎の挨拶/ 大会概要	4	12 レッキ	19
1.1 帯広 米沢市長よりご挨拶	4	12.1 レッキ受付	19
1.2 大会概要	5	12.2 レッキに関する規則及び指示	19
1.3 十勝地方について	6	12.3 使用推奨道路	19
2 オーガナイザーの連絡先	7	13 公式車検 /シーリング及びマーキング	20
2.1 大会事務局	7	13.1 日時及び場所	20
2.2 主要競技役員	7	13.2 公式車検前の準備	20
2.3 ラリーHQ	9	13.3 公式車検場へのルート	20
2.4 メディア事務局	9	13.4 再車検	21
2.5 メディアセンター	9	14 シェイクダウン	21
3 プログラム	10	15 セレモニースタート及びラリーショー	21
3.1 大会開始前のスケジュール	10	15.1 日時及び場所	21
3.2 大会期間中のスケジュール	10	15.2 プログラム、進行の手順	21
4 エントリー	12	16 フィニッシュ	23
4.1 FIA タイトル	12	16.1 日時及び場所	23
4.2 エントリーパッケージ	12	16.2 プログラム、進行の手順	23
4.3 パス及び書類の追加注文	12	17 PR イベント及び入場制限	27
5 サービスパーク及びリモートサービス	13	18 メディア	28
5.1 サービスパークについて	13	18.1 大会前の連絡先	28
5.2 サービスパーク内施設	14	18.2 メディア登録の手順と締切	28
5.3 サービスパークに関するガイドライン	14	18.3 大会中の連絡先	28
6 無線	14	18.4 メディア受付	28
7 燃料 / タイヤ	15	18.5 メディアセンター	29
8 車両と部品の日本への持ち込み	15	18.6 メディアコンファレンス	29
8.1 日本の法律 / 通関手続き	15	18.7 各メディア報道	29
8.2 車両に関わる規制	16	19 クレデンシャル及び車両通行証	30
8.3 日本国内を運転する際の条件	16	19.1 クレデンシャル	30
8.4 交通法規の違い	16	19.2 車両通行証	31
9 ヘリコプター	17	20 医療及び安全サービス	32
9.1 登録申請手続き/ インフォメーション	17	21 総合案内	33
9.2 国内ヘリコプター会社	17	21.1 概要	33
10 ホスピタリティー	17	21.2 車両レンタル - 乗用車、トラック	34
11 ホテル / 宿泊施設の予約について	18	21.3 航空会社	34
		21.4 コピーサービス	35

Rally 26-28 Sep. 2014 Hokkaido



21.5 電話	35
21.6 警備会社	36
21.7 タクシー	36
21.8 ビジネスディレクター	36
21.9 レストランガイド	37

付則	39
-----------	-----------

付則 A アイテナリー	
付則 A.1 アイテナリー	40
付則 A.2 過去のラリー北海道との比較	43
付則 A.3 レッキスケジュール	44

付則 B マップ	
付則 B.1 ルートマップ	46
付則 B.2 帯広市マップ	47

付則 C ロードブック	
付則 C.1 とかち帯広空港 ~ JR 帯広駅	49
付則 C.2 HQ ~ 北愛国サービスパーク	51
付則 C.3 HQ ~ 車検場	53
付則 C.4 サービスパーク ~ 車検場	55
付則 C.5 リモートリフュールとサービス	58

付則 D 図面とレイアウト	
付則 D.1 北愛国サービスパーク	62
付則 D.2 陸別サービス	63
付則 D.3 車検場	64
付則 D.4 HQ とメディアセンター	65
付則 D.5 HQ&メディアセンター駐車場	66
付則 D.6 スタート及びフィニッシュ会場	67

付則 E Forms	
レッキ車両登録申込書	68
サービス員及び車両登録申込書	69

1. はじめに 歓迎のご挨拶 / 大会概要

1.1 帯広市長より歓迎のご挨拶

「ラリー北海道2014」の開催にあたり、帯広市民を代表して選手や関係者、観客の皆様を心から歓迎いたします。

十勝の秋空の下を駆け抜ける FIA アジア・パシフィックラリー選手権は、今年で13回目の開催となります。

昨年は、約6万8千人の観客が、ラリー北海道の各会場を訪れました。国内唯一の国際ラリー大会として、国内外からの注目が非常に高いこのラリーが、十勝を舞台にますます盛り上がっていることを地域として心から嬉しく感じます。

ラリー北海道が日本のみならず世界各地から来られた皆様との素晴らしい出会いや、交流の場となるよう今年も地域をあげて、ラリーファンをおもてなしの心でお迎え致します。

さて、十勝では「フードバレーとかち」を合言葉に地域の自然や環境、農業、そして食といった全国に誇る「とかちのかち」の発信に取り組んでおります。こうした自慢の「食」や秋の十勝の景観を大いに満喫していただき、この十勝が皆様の良き思い出の地となりますことを願っております。

結びになりますが、本大会が安全に運営され、これまで以上にラリーの醍醐味を味わえる盛大な大会となりますとともに、参加者各位のご健闘を心から祈念申し上げます。

帯広市長
米沢 則寿



1.2 大会概要(ラリー北海道概史)

日本で FIA アジア・パシフィックラリー選手権が開催されるのは、初開催の 2002 年から今年で 13 回目になります。3 年前より 10 周年を記念しまして、帯広駅前にあるモニュメントに歴代優勝ドライバー & コドライバーの名前が入ったプレートが掲げられています。2003 年には世界ラリー選手権 (WRC) 候補イベントとして、また 2004 年にはラリー・ジャパンと併催して開催されました。2005 年よりラリー・ジャパンから再び独立してラリー北海道の名称となり、JAF 全日本ラリー選手権を併催する国内で唯一の FIA 選手権の国際ラリー大会として開催を続けています。

今年は昨年とほぼ同じ 9 月の下旬の開催となります。北海道十勝地方の 9 月下旬の朝夕は秋の気候で、気温は 9℃前後で日中は 19℃前後の気候です。朝夕は冷えますが、昼間は太陽の恵みを感じられます。また、日照時間は午前 5 時 20 分頃の日の出からおよそ 12 時間あります。

アイテナリーは、十勝地方のおなじみの大地を網羅しています。今年のギャラリーステージは RIKUBETSU、OBIHIRO、HONBETSU、OTOFUKE、PAWSE KAMUY の 5 箇所が設定されています。

ラリーHQ 及びメディアセンターは昨年同様、帯広市の明治北海道十勝オーバルに隣接した管理棟に設置します。サービスパークは今年も世界ラリー選手権 (WRC) ラリージャパンでも使用されていた北愛国交流広場に設定します。また、昨年同様、Leg1 で使用する RIKUBETSU でサービスを行います。

この大会歴代勝者は以下の通りです：

2013 Winner	
Driver	Gaurav GILL (IND)
Co-driver	Glenn MACNEALL (NZ)
Entrant	TEAM MRF
Vehicle	Skoda Fabia S2000



Year	Driver	Co-driver	Entrant	Vehicle	Gp/Ci
2012	Toshihiro ARAI (J)	Dale Jay MOSCATT (AUS)	Team Arai (J)	Subaru Impreza WRX STi 4Door	R4
2011	Toshihiro ARAI (J)	Daniel BARRITT (GB)	Subaru Team Arai (J)	Subaru Impreza WRX STi	R4
2010	Toshihiro ARAI (J)	Daniel BARRITT (GB)	Subaru Team Arai (J)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2009	Cody CROCKER (AUS)	Ben ATKINSON (AUS)	Motor Image Rally Team (SGP)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2008	Toshihiro ARAI (J)	Glenn MACNEALL (NZ)	Subaru Team Arai (J)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2007	Cody CROCKER (AUS)	Ben ATKINSON (AUS)	Motor Image Rally Team (SGP)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2006	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Rally Team Japan (J)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2005	Katsu TAGUCHI (J)	Mark STACEY (AUS)	MRF Tyres (IND)	Mitsubishi Lancer Evo VIII	N4
2004	Karamjit SINGH (MAL)	Allen OH (MAL)	Team Proton Pert Malaysia (MAL)	Proton PERT	N4
2003	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Production Rally Team (J)	Subaru Impreza	N4
2002	Possum BOURNE (NZ)	Mark STACEY (AUS)	Subaru Australia (AUS)	Subaru Impreza	A8

1.3 十勝地方について

北海道は日本列島の最北に位置し、人口は約 560 万人です。人口密度は 67 人/km² であり、全国平均の 342 人/km² や東京都の 5629 人/km² と比べて、あまり人口が密な地域ではありません。また、多くの森林、山々、農業地帯が広がる豊かな地域です。

北海道は、イタリアの北方やフランスとほぼ同緯度に位置しています。しかし、南太平洋海流の影響を受けるため、冬には長期にわたり寒さが厳しくなります。日本は夏に台風の影響を多く受けますが、北海道はもっともその影響を受けることが少ない地域です。

十勝の田園風景は、アメリカ合衆国北部の州に似通ったところがあり、また、ラリー北海道のスペシャルステージをウェールズのステージに例える人々もいます。土地は比較的起伏が少なく、多くは農業に使用されています。山脈が南北に走り、北海道を東と西に分けています。北海道の中央部から西にも山脈があり、これら二つの山脈により、十勝地方の天候は比較的安定しています。ラリーで使用するコースの多くは十勝平野にあり、そのうちの何本かは山脈の麓にあります。山地ではありません。

北海道は、比較的新しい地域で、約 200 年前に本州から渡ってきた人により開拓されました。開拓以前は、この地区にはシベリアからカムチャッカ半島を下って来たアイヌと呼ばれる先住民のみが居住していました。その影響で北海道の多くの地名の語源はアイヌ語であり、ラリー北海道のステージ名の一部はアイヌ語を基に決定されました。

サービスパークが設置される帯広市は人口約 17 万人の都市です。帯広市は十勝地方の商業中心都市であり、町並みは近代的で、ホテルやレストランも数多くあります。道路は整備され、日本語・英語で書かれた標識がついています。中心地点からの方角と距離によって道路に名称がつけられており、例えば人気のあるレストラン「十勝ビール」の住所は、西 1 条南 9 丁目 6 となっています。

十勝の人々の多くはモータースポーツが大好きです。この地域では 2001 年から国際ラリーが開催され、2004 年から 2007 年まで 4 年間、WRC が開催されました。そのため地元の人々は日本で最もラリーを理解し、支援、協力する人々でもあります。

帯広市の地図は付則 B でご覧ください。



2. オーガナイザーの連絡先



2.1 大会事務局、Eメール&ウェブサイト

ラリー北海道大会事務局
〒003-0022
北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル

Tel: 011-864-2003
Fax: 011-864-1182
Eメール: info@rally-hokkaido.com
ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com

2.2 主要競技役員

審査委員会

	Mr. Alain ROLLY		Mr. Udomsak CHAN-ON
	FIA 審査委員長		FIA 審査委員
	alain@niaouli.org		udomsak@thailandrally.com
	080-2876-8968		080-2876-8969
	フランス		タイ
	竹道 雄康		
	ASN(JAF 派遣) 審査委員		
	f-takemichi@jcom.home.ne.jp		
	090-7057-8325		
	日本		

FIA オブザーバー及びデリゲート

	Mr. Willard MARTIN		Mr. Julian LEACH
	FIA オブザーバー		FIA テクニカルデリゲート
	4martins@clear.net.nz		julian@motorsport.org.nz
	080-2876-8970		080-2876-8971
	ニュージーランド		ニュージーランド

主要役員

	田畑 邦博		槇田 龍史
	大会組織委員会委員長		競技長
	tabata-p@rally-hokkaido.com		makita@rally-hokkaido.com
	090-3138-9732		090-3117-4789
	言語：日本語		言語：日本語
	Mr. Dmitry (Dima) KRIVTSOV		永井 真
	副競技長		競技長補佐(リザルト)
	dima@rally-hokkaido.com		nagai@rally-hokkaido.com
	090-2077-6302		090-3119-8487
	言語：ロシア語、英語、日本語		言語：日本語、英語

	<p>中田 省吾 競技長補佐(コース) nakata@j-is.jp 090-1527-6926 言語：日本語</p>		<p>大橋 登美雄 事務局長 ohashi@planning-for.co.jp 090-3117-3671 言語：日本語</p>
	<p>野田 健 医師団長 090-8275-9705 言語：日本語</p>		<p>米澤 章 救急委員長 yonezawa@rally-hokkaido.com 090-3110-0896 言語：日本語</p>
	<p>Mr. Peter MACNEALL コンペティターリレーション役員(CRO) info@rally-hokkaido.com (Attn Peter) 080-2876-8972 言語：英語</p>		<p>小寺 俊策 コンペティターリレーション役員(CRO) cro@jcom.home.ne.jp 090-6921-9881 言語：日本語、英語</p>
	<p>河野 功 メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com 090-3407-3364 言語：日本語、英語</p>		<p>石川 和男 技術委員長 cswxt639@yahoo.co.jp 090-3111-9306 言語：日本語</p>
	<p>酒井 紀之 サービスパークコーディネーター info@rally-hokkaido.com 090-3018-7927 言語：日本語</p>		<p>山田 堅一 リグループコーディネーター info@rally-hokkaido.com 090-3116-0216 言語：日本語</p>
	<p>新井野 美恵子 セクレタリー niino@homei-gr.com 011-864-1131 言語：日本語、英語</p>		<p>三上 清春 イベントセクレタリー mikami@homei-gr.com 090-3112-2095 言語：日本語</p>
	<p>小池 治郎 イベントセクレタリー koike@homei-gr.com 090-7510-5117 言語：日本語</p>		<p>田畑 弘美 イベントセクレタリー hiromi@homei-gr.com 011-864-2003 言語：日本語</p>

2.3 ラリーHQ の連絡先及び北愛国サービスパーク、陸別サービス

ラリーHQ
〒080-0856
北海道帯広市南町南7線56番地7
明治北海道十勝オーバル管理棟内
Tel:0155-67-0460 Fax: 0155-67-0458



ラリーHQ とメディアセンターは2011年から帯広の森スケート場（十勝オーバル）の管理棟内に設置されます。2009年に完成しました十勝オーバルに隣接した形で、スケートワールドカップにおいてはメディアセンターとして使用されました。メインサービスパークは愛国町の北愛国交流広場に、もう1つのサービスエリアは陸別町の陸別サーキットに隣接されます。北愛国サービスパーク、陸別サービス及びHQの位置については付則Bの地図をご参照ください。

ラリーHQ 及び競技事務局の開設時間

9月24日	水曜日	09時00分～19時00分
9月25日	木曜日	08時00分～19時00分
9月26日	金曜日	06時30分～22時00分
9月27日	土曜日	06時00分～22時00分
9月28日	日曜日	04時30分～21時00分
9月29日	月曜日	09時00分～12時00分

2.4 メディア事務局、Eメール&ウェブサイト

メディアオフィサー: 河野 功

ラリー北海道大会事務局 メディア
〒003-0022
北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル

Tel: 011-864-2003
Fax: 011-864-1182
Eメール: media@rally-hokkaido.com
ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com

メディアに関する詳細につきましては、セクション18をご参照ください。

2.5 メディアセンターの連絡先

メディアセンター
〒080-0856
北海道帯広市南町南7線56番地7
明治北海道十勝オーバル管理棟内
Tel:0155-67-0456 Fax:0155-67-0456



3. プログラム



3.1 イベント前

9月5日	金曜日	ラリーガイド2の発行	www.rally-hokkaido.com
10時00分		エントリー締切	大会事務局
18時00分		コ・ドライバーの詳細の登録締切	大会事務局
18時00分		備品およびパスの追加注文締切	大会事務局
18時00分		ヘリコプター登録締切	大会事務局
9月11日	木曜日	ポンプ燃料発注締切日	大会事務局
18時00分		メディア登録申請締切	大会事務局
9月18日	木曜日	シードエントリーリストの発行	www.rally-hokkaido.com
10時00分		サービスパークレイアウト及びサービススペースの公示	www.rally-hokkaido.com
18時00分			
9月21日	日曜日	ロードブックおよびルートマップの発行	大会事務局
10時00分			

3.2 イベント中

9月22日	月曜日	各チームへのサービスパークオープン及びコンテナ搬入	北愛国サービスパーク
09時00分			
9月24日	水曜日	ラリーHQ開設	十勝オーバル管理棟
09時00分		ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
09時00分~19時00分		公式掲示板	ラリーHQ入口横
09時00分~		参加確認及びサービス受付、レッキ受付	ラリーHQ
13時00分~19時00分		車検スケジュールの公示	公式掲示板
09時00分		メディアセンター開設時間	HQ横、メディアセンター
13時00分~19時00分		メディア受付開始	メディアセンター入口
13時00分			
9月25日	木曜日	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
08時00分~19時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
08時00分~19時00分		レッキ	レッキスケジュール参照
09時00分~18時00分		車検及びマーキング、シーリング	スーパーピット中央店
08時30分~19時00分		ウェルカムパーティー	北愛国サービスパーク
19時30分~			

9月26日	金曜日		
06時30分~22時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
06時30分~22時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
07時00分~12時00分		レッキ	レッキスケジュール参照
08時30分~12時30分		車検及びマーキング、シーリング	スーパーピット中央店
12時00分~13時00分		シェイクダウン	SATSUNAI River SSS
13時30分		第1回大会審査委員会	審査委員会室
13時30分		プレメディアコンファレンス	メディアセンター
15時00分		Leg 1 スタートリストの公示	公式掲示板
15時45分		ラリーショー	北愛国サービスパーク
16時45分		セレモニアルスタート	北愛国サービスパーク
17時37分		Leg 1A スタート	北愛国サービスパーク
9月27日	土曜日		
06時00分~22時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
06時00分~22時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
06時40分		Leg 1B スタート	北愛国サービスパーク
21時00分		Leg 2 スタートリストの公示	公式掲示板
9月28日	日曜日		
04時30分~21時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
04時30分~21時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
05時15分		Leg 2 スタート	北愛国サービスパーク
17時22分		ラリーフィニッシュ及び表彰式 (全日本は 15時28分~ 予定)	北愛国サービスパーク
18時00分		再車検 (全日本は 16時00分~ 予定)	スーパーピット中央店
18時30分~		ファイナルメディアコンファレンス (全日本は 16時30分~ 予定)	北愛国サービスパーク
20時00分		暫定結果公示	公式掲示板
9月29日	月曜日		
09時00分~12時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
09時00分~12時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
10時00分		リザルト CD 発行	ラリーHQ
12時00分		ラリーHQ、メディアセンター閉設	ラリーHQ



4. エントリー



4.1 FIA タイトル

2014 FIA Asia-Pacific Rally Championship for Drivers and Co-drivers
 2014 FIA Asia-Pacific Rally Production Car Cup for Drivers and Co-drivers
 2014 FIA Asia-Pacific Rally Cup for Manufacturers
 2014 FIA Asia-Pacific Rally Junior Cup
 2014 FIA Asia-Pacific 2WD Rally Cup for Drivers, Co-drivers and Manufacturers
 2014 FIA Asia Rally Cup for Drivers and Co-drivers

4.1.1 Asia-Pacific Rally Championship タイトル

Teams trophy

4.1.2 JAF タイトル

2014 年 全日本ラリー選手権

4.2 エントリーパッケージ

品目	APRC&アジアカップ 登録選手	APRC&アジアカップ 一般参加者	全日本ラリー選手権 参加者
APRC 宿泊(金 - 土)	2	2	-
全日本宿泊(土)	-	-	1
ラリーガイド 1	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
特別規則書	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
ラリーガイド 2	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
ロードブック	2	1	1
ルートマップ	2	1	1
公式プログラム	4	1	1
リザルト CD	1	1	1
競技者パス	2	2	2
サービスクルーパス	8	4	4
ゲストパス	4	-	-
サービス車両通行証	2	2	2
補助車両通行証	1	-	-
サービスパークスペース (北愛国サービスパーク)	15x10m	7.5x5m	7.5x5m

4.3 パス及び書類の追加注文

上記のパス及び書類の追加注文は、大会事務局にお問合せください。
 ラリーガイド 1 の付則に注文用紙がございます。

5. サービスパーク及びリクベツサービス

5.1 サービスパークについて

サービスパークはリクベツサービスを含め2箇所です。メインサービスパークは北愛国交流広場、もう一ヶ所のリクベツサービスは陸別町の陸別サーキットに隣接したエリア設置されます。北愛国サービスパーク及びリクベツサービスとも会場の路面はグラベルです。

サービススペースの配置は、9月18日(木曜日)18:00にラリー北海道公式ウェブサイト(<http://www.rally-hokkaido.com/jp/>)で公示いたします。

北愛国サービスパークの開設は9月22日(月)09時00分です。

5.1.1 北愛国サービスパーク

北愛国サービスパークアクセス時間

9月22日	月曜日	09時00分~18時00分
9月23日	火曜日	08時00分~18時00分
9月24日	水曜日	08時00分~20時00分
9月25日	木曜日	07時00分~20時00分
9月26日	金曜日	05時30分~23時00分
9月27日	土曜日	05時00分~00時00分
9月28日	日曜日	03時30分~20時00分
9月29日	月曜日	08時00分~12時00分

北愛国サービスパークの警備は9月25日(木)~9月28日(日)19時00分まで行われます。

参加者は、北愛国サービスパークの指定エリア内に限り、Auxiliary Vehicles(補助車両)を駐車することができます。それ以外の車両は、サービスパークに隣接している一般駐車場に駐車しなければなりません。1参加者につき2枚のサービス車両プレートが支給されます。追加の補助車両用プレートは10,000円で注文することができます。

5.1.2 陸別サービス

陸別サービスアクセス時間

9月27日 土曜日 07時00分~16時00分

参加者は、陸別サービスの指定エリア内に駐車できない車両及びAuxiliary Vehicles(補助車両)、それ以外の車両についてサービスパークに隣接している専用駐車場に駐車しなければなりません。

5.2 サービスパーク内施設

一般施設

施設	北愛国サービスパーク	陸別サービス
公衆トイレ	3	2
全体照明	1	-
一般警備	1	-
給水栓	1	1

5.3 サービスパークに関するガイドライン

- 9月26日～28日の間サービスパーク内にアクセスする際は、サービス及び補助車両通行証等の車両通行証を助手席側のフロントガラス上部に**必ず貼付**しなければなりません。貼付けていない場合は**入場できません**。
- サービスパーク内の通路は一方通行路が多くありますのでご注意ください。また、サービスカーの入場口は選手が出入りする時間帯は一般入場口からとなります。
- 通路は車両通行証を提示した車両であっても駐車、停車を禁止します。隣接する補助車両駐車場に駐車してください。
- リグループエリアにサービス車両及びチーム関係者車両の駐車は絶対にしないでください。
- スペクテーターエリアを除き、サービスパーク内全域ではクレデンシャルパスを身に付けてください。
- 車両通行についてはマップに指示されている方向に従ってください。サービスパーク内を車両で移動する際には、時速30km以内で走行マーシャルの指示に従ってください。
- サービスパーク内において各チームエリアで発生するゴミは、参加者の責任で持ち帰り等も含め処理してください。大会終了後にチームエリアに残されたゴミはそのチームにゴミ処理料を請求します。
- 全ての電源ケーブルおよび配電盤は既存の照明用のもので、サービスパークコーディネーターの許可がない限り、サービス員が使用する事はできません。
- サービスパークの規則に関しては、FIA 地域ラリー規則、第48条及び49条、50条、52条をご参照ください。フレキシサービスの規則についてはFIA 地域ラリー選手権競技規定第51条及びV4をご覧ください。



6. 無線



日本での無線の使用は、厳しく規制されています。無線装置の使用を希望する方は大会3ヶ月前までに大会事務局に申請する必要があり、本大会の受付は6月30日に締め切りました。

7. 燃料 / タイヤ

2014 ラリー北海道の特別規則書を参照。

8. 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

8.1 日本の法律 / 通関手続き

日本国内での輸送にはかなりの費用がかかりますので、開催場所から最も近い苫小牧港まで海上輸送を利用することをおすすめします。海外からの持ち込み品については税関手続きが必要になります。苫小牧港からサービスパークまでのコンテナ輸送には、約3時間かかります。

通関手続きに必要な書類と注意点などは下記の通り；

(1) FIA カルネ

FIA カルネはラリーカー、レッキ車両、サービス車両などの海外で登録された車両が日本国内を走行する時に必ず必要になります。このカルネは当該車両登録国のASNから発行されます。なお、FIA カルネで通関をする際には、JAFが発行するカルネの証明書が必要になります。この証明書の取得については、オーガナイザーにお問合せ下さい。なお、カルネとこの証明書は、当該車両を使用中に警察などから提示を求められる場合があります。いつでも提示できるように用意しておいて下さい。また、当該車両の登録国を問わず、公道を走る全ての車両は自賠責保険に加入していません。

注意：ジュネーブ条約（ジュネーブで1949年に締結された「道路交通に関する条約」）国以外の国から車両を輸入する場合は、例えFIAカルネを取得していても、日本に到着した時点で車検、及び日本国内での登録が必要になります。この車検と登録には時間と費用がかかります。

(2) ATA カルネ

ATAカルネは機材、部品、タイヤ、及び販促アイテムを持ち込む時、必要になります。ATAカルネで輸入された全ての品目はラリー後再輸出される必要があります。禁制品は例え一時的であっても輸入することは出来ません。

(3) PRO FORMA INVOICE

PRO FORMA INVOICEの使用に関しては、オーガナイザーもしくは個々の輸送会社にお尋ね下さい。

高圧ガスシリンダーなどの危険物や医療品の輸入に必要な特別認可を受ける際に、上記の書類提出が求められます。これらの輸入に関しては、各自で手続きをする必要があります。

車両及びその他の機材を輸入する方は、下記にありますラリー北海道オフィシャルフォワードャーにお尋ね下さい。

株式会社栗林商会 苫小牧支社
053-0005 苫小牧市元中野町2丁目13-16
Tel : 0144-32-5018
Fax : 0144-36-6839
河野 純吾 : kouno@kurinet.co.jp
小林 克之 : kat-kobayashi@kurinet.co.jp

8.2 車両に係る規制 (運転免許証含む)

ラリー北海道に参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならないが、国際モータースポーツ競技規則付則 J 項あるいは JAF 国内競技車両規則 (ライトポット、排気音量、etc) に合致していなければなりません。

日本で登録されていない車両は、以下の (a) (b) の書類が必要であり、車両に搭載しておかなければなりません。(c) は競技車両用にお勧めします。

(a) JAF から発行され、オーガナイザーから配布されたカルネの証明書類 (翻訳されたもの)。この書類は車両の一時輸入を許可する効力があります。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれていますが、ラリーカー以外の車両に関しては、手数料がかかります。

(b) 自賠責保険の加入。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれています。ラリーカー以外の日本で登録されていない車両に関しては、約 6,500 円で加入することができます。

(c) ラリー保険。ラリーカーやレッキカーに対しこの保険をかけることをお勧めします。この保険には第三者賠償責任保険も含まれ、保険料はエンジンの大きさにより異なりますが、約 20,000 円です。

当ガイド付則 D のエントリーブックレットに、車両の輸入に関するセクションがあります。上記の(b)と(c)の書類には、車両について詳細にご記入ください。

8.3 日本国内を運転する際の条件

海外から入国する者が日本国内で運転する為には日本の運転免許証、もしくは公道を運転するのに有効な国際免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は 1949 年に締結されたジュネーブ条約下で発効されたもののみが有効で、免許証の表紙にその事が明記されていなくてはなりません。詳細に関してはオーガナイザーにお問合せ下さい。

ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー及び台湾で発行された免許証を所持している者は JAF による翻訳が必要になります。この翻訳した物と免許証を同時に携帯することで、ジュネーブ条約下で発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。上記以外の免許証を所持している者は、実技試験を受けるかもしくは外免切替を求められます。

外免切替の詳細についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。: <http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

8.4 交通法規の違い

<日本語版では省略します>



9. ヘリコプター



9.1 登録申請手続き／インフォメーション

ラリーのサポート、取材、観戦等を目的としてヘリコプターを使用する場合は、オーガナイザーに登録しなければなりません（有料）。ラリーコースの上空は航空法により管理されています。また、このエリアにおける飛行は登録された航空機のみが許可されます。

ヘリコプター登録申込書は、ラリーガイド1に添付されています。記入後、9月5日（金）までに大会競技事務局に送付してください。

スペシャルステージ及びサービスパークの着陸地点およびGPSポイントの一覧表は後日お知らせします。

登録した航空機のパイロットは、パイロットブリーフィングに出席することが義務付けられています。

9.2 国内ヘリコプター会社の連絡先

朝日航洋株式会社	北海道航空株式会社
Tel: 011-782-0603	Tel: 011-782-1247
Fax: 011-783-5286	Fax: 011-780-2711
HP: www.aeroasahi.co.jp	HP: www.hokkaido-koku.co.jp



10. ホスピタリティー



コーポレートホスピタリティーについては、下記の担当者にお問い合わせください。

担当: 新井野 美恵子
Tel: 011-864-1131
Fax: 011-864-1182
Email: niino@homei-gr.com

11. ホテル / 宿泊施設の予約について

11.1 予約に関するお問合せ

以下の 2 軒のホテルと適切な金額で宿泊できるよう交渉し、一括予約いたしました。宿泊予約をする際は、付則 D の申込書にご記入の上、ラリー事務局まで返送してください。

ドライバーおよびコ・ドライバーのホテル宿泊料金は、コンペティターのエントリーフィーに含まれています。それぞれの宿泊日数は、APRC 及びアジアカップ参加選手の場合は 2 泊（9 月 26 日〔金〕～27 日〔土〕）、JRC 参加選手の場合は 1 泊（9 月 27 日〔土〕）となっています。以下のホテルにて基本的にシングルルーム使用となります。ホテルの決定はオーガナイザーが行います。

宿泊予約申込書にご希望の部屋についてご記入ください。

帯広ワシントンホテル	
住所： 帯広市西 1 条南 12 丁目 8	シングル： 6,500 円
TEL： 0155-23-5111	ツイン（少数）： ツインをご希望の方は事務局にご連絡下さい。
FAX： 0155-23-5112	※ 朝食込（朝食を食べなくても料金は変わりません。）
言語： 日本語/英語	
駐車場： 500 円	
Web: http://www.obihiro-wh.com/	
JR 帯広駅から徒歩 2 分。市内中心部に位置し、利便性の高いホテルです。	

ホテルルートイン帯広	
住所： 帯広市西 3 条南 11 丁目	シングル： 6,500 円
TEL： 0155-28-7200	※朝食込(朝食を食べなくても料金は変わりません。)
言語： 日本語のみ	
駐車場： 500 円	
Web: http://www.route-inn.co.jp	
帯広市内の比較的新しいビジネスホテルです。JR 帯広駅より徒歩数分。	

帯広市街および付近には多くのホテルがあります。インターネットで検索する場合には、「帯広」、「十勝川」と入力してみてください。また、帯広市内のホテルは、下記のウェブサイトもご参照ください。

<http://www.obihiro-yado.com/>

ホテルとの連絡が困難な場合、あるいはオーガナイザーに宿泊予約の協力を希望する場合、大会事務局にお問合せください。

12. レッキ

12.1 レッキ受付

日時: 9月24日(水曜日) 13時00分~19時00分
場所: ラリーHQ

レッキ受付は、参加確認と共に行われます。参加確認の日程・時間につきましては、チーム毎に時間を振り分けます。参加者は、ラリーガイド1付則Dのエントリーブックレットにご希望の時間をご記入ください。



12.2 レッキに関する規則及び指示

レッキ規則全般に関してはFIA 地域ラリー選手権競技規定、第25条及びラリー北海道特別規則書第9条をご参照ください。

レッキは付則A.3のスケジュールに従って行ってください。参加車は3グループに分かれます。車両番号1~15番までがグループA、その他のAPRC、アジアカップ参加者はグループB、そして全日本ラリー選手権参加者グループとなります。

レッキ受付はレッキ開始前に済ませてください。レッキの受付の際に、コンペティターにレッキサインカード及び車両識別カード(パス)をお渡しいたします。レッキの間、車両識別カード(パス)を左リアサイドのウィンドウに貼付ください。レッキサインカードはステージを2回走行するのに有効です。各ステージのスタート及びフィニッシュ時にオフィシャルのサインを受けてください。

各クルーは、各スペシャルステージを2回まで走行できます。競技ルートと同じ方向に走行してください。スペシャルステージが重複されているコースの走行回数は2回までといたします。

レッキの間、参加者は交通法規を厳守しなければなりません。常に、他の道路利用者の安全と権利を尊重してください。オフィシャルが、レッキ中の参加者の行為を目視、計測機器、写真、またはビデオ等によって監視することがあります。いかなる違反も審査委員会に報告され、スタート不可までの罰則を課す場合があります。

レッキ中に走行する道路では、道路標識に表示されている速度制限を遵守してください。スピード違反は審査委員会に報告され、ペナルティーの対象になります。

使用タイヤは、量産されたアスファルト用タイヤとし、競技用タイヤの使用は禁止します。(APRC)

ガソリンスタンドおよびコンビニエンスストアの位置は、ルートマップ上にわかりやすく表記されています。ほとんどの店舗でクレジットカードをご使用いただけますが、日本では現金でのお買い物が一般的で望ましいとされています。

12.3 SS フィニッシュからスタートまでの使用推奨道路

使用推奨道路については、レッキ受付(参加確認)でレッキ指示書を渡します。



13. 公式車検 / シーリング及びマーキング



13.1 日時及び場所

日時: 9月25日(木曜日) 08時30分~19時00分
9月26日(金曜日) 08時30分~12時30分
場所: スーパーピット中央店
住所: 帯広市西8条南9丁目10



参加者は、ラリーガイド1にありますエントリーブックレットに詳細に記入し、公式車両検査の希望時間を指定してください。指定がない場合は、オーガナイザーから時間を指定いたします。公式車両検査のスケジュールは、9月24日(水曜日)09時00分に公式掲示板にて公示いたします。

13.2 公式車両検査前の準備

参加者は、公示されたスケジュールに従って車検場の入り口に車両を止め、現場のオフィシャルの指示に従ってください。入り口付近が競技車両で混雑し、指定された時間に間に合わない場合は、チームメンバーが入り口付近にいるオフィシャルにその旨をお知らせください。ゼッケンナンバー、オーガナイザーの広告及びプレートを公式車両検査時まで貼付してください。貼付位置については、特別規則書をご参照ください。

以下の書類/品目を公式車両検査時にご持参ください：

- 公式車両検査シート：参加確認時に配布
- 大会参加時の車両登録証（日本登録車両のみ）
- モータースポーツ車両登録台帳（The vehicles motorsport logbook）（持っているならば）
- ロールケージホモロゲーションシート
- 全ての更新内容が含まれたFIA 競技車両ホモロゲーションフォーム
- ヘルメット、レーシングスーツ、アンダーウェア、ソックス、バラクラバ、レーシングシューズ、グローブ

参加者は、FIA 国際競技規則の付則J項、第252条(プロダクションカーの一般規則)と第253条(安全装置)及びFIA 国際競技規則L項第3章ならびにFIA 地域ラリー選手権規定第26条、27条及び28条、ラリー北海道特別規則書第11条をよく理解しておいてください。
全日本ラリー選手権の参加者は、JAF 国内競技規則をご参照ください。

13.3 公式車両検査場へのルート

三洋興熱スーパーピット中央店の位置は、付則Bの帯広市周辺地図に表示されています。北愛国サービスパークの出口を左折し、更に左折し札内川を渡り、国道236号線との交差点(セブンイレブン/ホクレンスタンド角)を右折します。0.4km先(ENEOS角)を左折し道なりに2.73kmの交差点「西5南19」(ポスフル)を左折。道なりに1.58km進むと「西8南9」の交差点の左手奥にMobil石油の看板が目立つスーパーピット中央店あります。



13.4 再車検

三洋興熱スーパーピット中央店（公式車両検査と同じ場所）で行います(APRC)。JRC 車両は北愛国サービスパーク内(リフューエルエリア)で行います。再車検対象車両にはポディウム後のパルクフェルメ入口で告知します。オフィシャルの指示に従ってください。

14. シェイクダウン

北愛国サービスパークに隣接している SATSUNAI River SSS で行います。

APRC 選手権/アジアカップに登録しているドライバー及びオーガナイザーが指名したドライバーの参加が義務付けられています。詳細は以下の通りです。

場所	SATSUNAI River SSS
日時	9月26日 金曜日 12時00分 - 13時00分
ステージの距離	1.00km
サービス	北愛国サービスパーク
サービスパークからの距離	スタートまで 3.3Km

15. セレモニアルスタート及びラリーショー

15.1 日時及び場所

日時: 09月26日 金曜日 15時45分～
場所: 北愛国サービスパーク

15.2 プログラム、進行の手順

セレモニアルスタートはラリーショーと併催されます。ラリーショーでは来場した観客に向けてドライバーとコ・ドライバーによるサイン会やアトラクションが催されます。ラリーショーの会場は、北愛国サービスパークで、終了後、同じ会場でセレモニアルスタートが行われます。ラリーショー及びセレモニアルスタートにおいては、ドライバーとコ・ドライバーは、ドライビングスーツを着用してください。



ラリーショー

観客向けのラリーショーを15時45分より16時20分まで行います。ラリーカーをポディウムとサービスエリアの間の道路(アスファルト)に移動して並べます。アッセンブリーエリア(サービスアウトのリググループ)からオフィシャルの指示で車両を移動させてください。配置レイアウト及び移動タイミングは当日コミュニケーションにて発表致します。観客は道路に入場でき、ラリーカーを間近で見ることができます。チームはプロモーション活動としてチームのスポンサーの看板やバナー等を掲げ、ラリーカー周辺を装飾し観客サービスを行うこともできます。ドライバー及びコ・ドライバーによるサイン会は、同所で行ってください。ラリーショー終了後、観客は道路から退出されます。

Rally 26-28 Sep. 2014 Hokkaido



セレモニアルスタートのためにクルーは車両で待機してください。オフィシャルの指示でセレモニアルスタートに進みます。

セレモニアルスタート

16時45分より開会式典が開始され、最初の車両は17時00分にポディウムをスタートします。

スタート順は以下の通りです。



APRC 及びアジアカップ参加選手 リバースオーダー
JRC 参加選手 ゼッケン順

ポディウムにて各チームは紹介プラカード(各自制作持参)を提示することができます。プラカードには、ゼッケンナンバー、ドライバー氏名、チームの国籍を必ず入れてください(スポンサー名及びロゴを入れても構いません)。また、プラカードを持って案内する係はチーム員(女性・男性問わず仮装も可)が行うことができます。

ポディウム周辺のレイアウトについては付則 D6 をご覧ください。

※注意事項

セレモニアルスタート後に **SS1 SATSUNAI River** を行います。

先頭車両の時間	進行内容	場所
15時45分～	ラリーショー開始。観客は道路に入場することができる。ただし、警備員及びマーシャルがエリア内を巡回する。全ドライバー及びコ・ドライバーはサイン会参加を勧められる。トップ10のAPRCドライバー及びトップ5のJRCドライバー(ゼッケンナンバーによる)で、参加できない場合は、オーガナイザーに連絡すること。必要なテーブル、椅子、テントなどは各チームで用意すること。	ラリーショー会場
16時20分	ラリーショー終了。全ての観客はオフィシャルによって速やかに道路から退場させられる。観客は場内アナウンスでセレモニースタート会場に誘導される。	
16時45分	開会式典 クルーは、オフィシャルの指示でポディウム入口まで車両を移動させて待機する。	
17時00分	先頭車両がポディウムに上がりスタートする。セレモニアルスタートはオーガナイザーの指示した順番と30秒～1分間隔でスタートする。車両はオフィシャルの指示に従い観客の間を通り、サービスに戻る。	ポディウム
17時37分	TC 0 Service Exit	サービスパーク
17時57分	TC 1 OBIHIRO	SATSUNAI River SSS
18時00分	SS 1 SATSUNAI River	SATSUNAI River SSS



16. フィニッシュ



16.1 日時及び場所

日時:9月28日(日)17時22分～

場所:北愛国サービスパーク

フィニッシュの順番は以下の通りです:

APRC

APRC 登録選手 トップ3

APRC 総合勝者 トップ3

その他のAPRC参加車両は、フィニッシュリグループのチェックインタイムに準じて行う。

各クラスの賞典(参加台数による)の表彰を行う。

入賞者は正式結果発表後にトロフィー、副賞等をHQ事務局に各自取りに来てください。

JRC

日時:9月28日(日)15時28分～

場所:北愛国サービスパーク

各クラスの暫定表彰をポディウムで行う。

その他の全日本ラリー選手権参加車両は、フィニッシュリグループのチェックインタイムに準じて行う。入賞者は正式結果発表後にトロフィー、副賞等をHQ事務局に各自取りに来てください。

オフィシャルフィニッシュのレイアウトについては付則Dをご覧ください。



16.2 プログラム、進行の手順

APRC

先頭車両の時間	進行内容	詳細
17時12分～	フィニッシュホーディングIN	ポディウムフィニッシュの為のリグループを行う。
17時22分	APRC 登録選手 第3位	APRC 登録の第3位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。その後車両をオフィシャルの指示でポディウム左前方に停める。クルーはトロフィーの授与式まで待機。
17時24分	APRC 登録選手 第2位	APRC 登録の第2位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。その後車両をオフィシャルの指示でポディウム右前方に停める。クルーはトロフィーの授与式まで待機。
17時26分	APRC 登録選手 優勝	APRC 登録の優勝の車両がポディウムに上がる。車両のフロントがランプ出口部分にかかった状態でエンジンを止めて停車する。クルーはボンネットに上がり月桂冠を受

		取る。手を振り写真撮影用を行う(30s)。写真撮影時にはチームメンバーも参加可能で終了後、速やかに降壇する。
	表彰台	写真撮影後、表彰台をポディアムの前に設置する。
17時29分	勝利者インタビュー プレゼンター	優勝者はポディアム上でインタビューを受ける。 プレゼンターは、オフィシャルの案内で待機場所に移動する。
17時31分	上位入賞者3クルー	MCの呼び込みでクルーが表彰台に上がる。1位、2位3位の順。ドライバーの左側にコ・ドライバーが立つ。
17時33分	国歌・国旗掲揚	優勝したドライバーの国歌(30s)を流す。同時に優勝、2位、3位に入賞したドライバーの国旗と優勝車両の国旗を掲揚する(30s)。
17時35分	トロフィー授与	プレゼンターはトロフィーを持ち、MCに合わせてクルーに手渡し、握手をする。3位、2位、1位の順。同時にシャンペンをクルーの足下に置く。プレゼンターは授与後、席に戻る。
17時37分	トロフィーを手に写真撮影	全クルーに渡った時点で、トロフィーを掲げ写真撮影を行う。
17時39分	シャンペンシャワー	写真撮影後にシャンペンシャワーを行う。終了後に表彰台を撤去しAPRC総合勝者授与式の準備をする。
17時41分	車両退場	優勝車両がポディアムから降り2位、3位の車両が続き観客の中をパルクフェルメまで移動する。
17時43分	APRC総合勝者のトロフィー授与式の開始	(APRC総合勝者上位3台が登録選手と同じ場合は省略する) MCがAPRC総合勝者の授与式をアナウンス
17時50分	APRC総合勝者のトロフィー授与式	APRC総合勝者上位3台が登録選手と違う場合は、上記の手順で行う。一組でも同じクルーがいる場合は次の手順で行う。2位及び3位のクルーは、ポディアム上で車両から降りトロフィーを受け取り、写真撮影を行う。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。 APRC総合優勝クルーは、月桂樹、トロフィーをポディアム上で受け取り、写真撮影を行う。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
17時56分	他のAPRC参加者のポディアムフィニッシュ	Leg 2を完走したその他のAPRC参加者は、フィニッシュリグループのチェックインタイムの順に30秒間隔でポディアムに上がる。写真撮影用に一時停車する。クルーは降車しない。各クラスの入賞者にトロフィーと副賞が競技事務局(HQ)で渡される。

全日本ラリー選手権の暫定表彰式

先頭車両の時間	進行内容	詳細
14 時 18 分	フィニッシュホールディング IN	ポディウムフィニッシュの為にリグループを行う。表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。
14 時 23 分	全日本ラリー選手権	MC が全日本ラリー選手権の暫定表彰をアナウンス
14 時 28 分	JN6 クラス	(表彰対象がある場合) JN6 クラスの第 6 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 29 分		(表彰対象がある場合) JN6 クラスの第 5 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 30 分		(表彰対象がある場合) JN6 クラスの第 4 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 31 分		JN6 クラスの第 3 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム左前方に停める。クルーはその場で待機する。
14 時 33 分		JN6 クラスの第 2 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム右前方に停める。クルーはその場で待機する。
14 時 35 分		JN6 クラスの優勝、(総合優勝)車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて(MC から総合優勝案内)写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム前方中央に停める。
14 時 37 分	トロフィー授与	クルーは各自の車両の前に立ち、各プレゼンターからトロフィーを受け取る。プレゼンターは、MC に合わせてクルーにトロフィーを手渡し、握手をする。3 位、2 位、1 位の順。クルーはトロフィーを持ち写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に 1 位、2 位、3 位の順で車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 42 分	JN5 クラス	(表彰対象がある場合) JN5 クラスの第 4 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 43 分		JN5 クラスの第 3 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム左前方に停める。クルーはその場で待機する。

14 時 45 分		JN5 クラスの第 2 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム右前方に止める。クルーはその場で待機する。
14 時 47 分		JN5 クラスの優勝、(総合優勝)車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて(MC から総合優勝案内)写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム前方中央に止める。
14 時 49 分	トロフィー授与	クルーは各自の車両の前に立ち、各プレゼンターからトロフィーを受け取る。プレゼンターは、MC に合わせてクルーにトロフィーを手渡し、握手をする。3 位、2 位、1 位の順。クルーはトロフィーを持ち写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に 1 位、2 位、3 位の順で車両をパルクフェルメまで移動する。
14 時 54 分	JN4 クラス	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
14 時 59 分	JN3 クラス	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
15 時 10 分	JN2 クラス	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
15 時 20 分	JN1 クラス	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
15 時 30 分	他の全日本ラリー選手権クルーのポディウムフィニッシュ	Day2 を完走したその他の参加車両はフィニッシュリグループのチェックインタイムの順に 30 秒間隔でポディウムフィニッシュに上がる。写真撮影用に一時停車する。降車はしない。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
15 時 50 分	セレモニー終了	ポディウムフィニッシュの終了予定時間

17. PR イベント及び入場制限

9月25日 木曜日

ウェルカムパーティー

時間: 19時30分～
場所: 北愛国サービスパーク
内容: 国際ラリー支援歓迎実行委員会主催による立食パーティー
入場制限: 選手・チーム員・競技関係者

9月26日 金曜日

プレイベントメディアコンファレンス

時間: 14時30分～
場所: メディアセンター
内容: APRCのトップクルーの記者会見及び全日本ラリー選手権トップクルーの記者会見
入場制限: 登録メディアのみ

ラリーショー (サイン会及びラリーカー展示)

時間: 15時45分～16時20分
場所: 北愛国サービスパークラリーショー会場
内容: メイン道路で競技車の展示とクルーのサイン会を開催
入場制限: 入場制限無し。ラリーショー会場は16時20分まで開放

開会式及びセレモニアルスタート

時間: 開会式: 16時45分 / セレモニアルスタート: 17時00分～
場所: 北愛国サービスパーク
内容: ポディウムプレゼンテーション
入場制限: 観客はポディウム周辺の観客エリア、通路から観戦できる。

9月27日 土曜日

沿道応援

時間: 17時00分頃～
場所: 帯広駅前通り 西2条南8丁目～西2条南11丁目 (藤丸デパート前付近)
内容: 通過する選手を沿道より応援
入場制限: 入場制限無し

9月28日 日曜日

ポディウムフィニッシュ

時間: 16時39分～
場所: 北愛国サービスパーク
内容: ポディウムフィニッシュ: 表彰式
入場制限: 観客はポディウム周辺の観客エリア、通路から観戦できる。

ファイナルメディアコンファレンス

時間: 18時30分～ (JRCは16時30分～)
場所: 北愛国サービスパーク
内容: 上位3クルーの記者会見
入場制限: 観客はポディウム周辺の観客エリア、通路から観戦できる。

18. メディア

18.1 大会前の連絡先

メディアオフィサーに申請方法やメディア設備についてお問合せください。

メディアオフィサー:	河野 功
住所:	RALLY HOKKAIDO 大会事務局 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル
TEL:	011-864-2003
FAX:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

18.2 メディア登録の手順と締切

ラリー北海道で取材を行なう各媒体は、メディア登録が必要となります。メディア登録には、メディア取材申請書と添付する各書類が必要です。
メディア取材申請書と添付する各書類の説明は、ラリー北海道公式ウェブサイト www.rally-hokkaido.com のメディアに掲載されています。書類に不備がないかをご確認の上、メディア取材申請書と全ての添付書類を締切日 9月11日木曜日 18時00分(必着)までに、上記の宛先に送付してください。質問がありましたら、事務局小池までお問合せ下さい。

締切日：9月11日 木曜日 18時00分 必着

18.3 大会中の連絡先

RALLY HOKKAIDO メディアセンター	
住所:	〒080-0856 北海道帯広市南町南 7 線 56 番地 7 明治北海道十勝オーバル管理棟内
TEL:	0155-66-6260
FAX:	0155-66-6260
Email:	media@rally-hokkaido.com

18.4 メディア受付

メディア受付は、RALLY HOKKAIDO メディアセンターで行います。

開設日時

9月24日	水曜日	13時00分～19時00分
9月25日	木曜日	08時00分～19時00分
9月26日	金曜日	06時30分～22時00分

18.5 メディアセンター

開設日時

9月24日	水曜日	13時00分～19時00分
9月25日	木曜日	08時00分～19時00分
9月26日	金曜日	06時30分～22時00分
9月27日	土曜日	06時00分～22時00分
9月28日	日曜日	04時30分～21時00分
9月29日	月曜日	09時00分～12時00分

18.6 メディアコンファレンス

プレメディアコンファレンス	
日時:	9月26日 金曜日 APRC: 13時30分～ JRC: 13時50分～
場所:	メディアセンター

ファイナルメディアコンファレンス	
日時:	9月28日 日曜日 APRC: 18時30分～ JRC: 16時30分～
場所:	北愛国サービスパーク

18.7 各メディア報道

以下は登録メディアのリストです。

メディア登録締切日前に発行されるため、完全な一覧表ではないのでご了承ください

モータースポーツ専門誌及び Car 雑誌		
Rally Plus	プレイドライブ	JAF Sport
インプレッサマガジン	カーマガジン	

新聞及び通信社		
十勝毎日新聞社(勝毎)	広報 音更	広報 陸別
北海道新聞	広報 足寄	広報 士幌

TV 及びラジオ、ウェブ		
APRC TV	carXs	FM Apple
RALLY PLUS.NET	Rally Do	

8月31日現在



19. クレデンシャル及び車両通行証



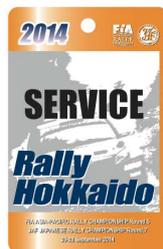
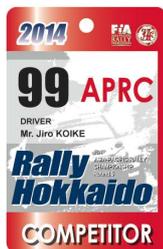
19.1 クレデンシャル



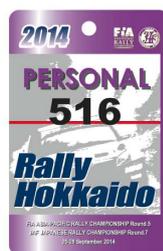
全エリア
(担当部署にアクセスは制限される)



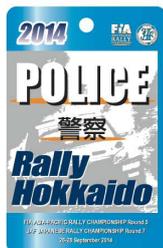
観戦エリア
サービスパーク
リザルト&インフォメーションエリア
メディアセンター
メディアコンファレンス
メディアポイント(タバードと共に)



サービスパーク
ラリーHQ
リザルト&インフォメーションエリア
メディアコンファレンス
(メディアセンターに余裕があれば)



観戦エリア
サービスパーク



警察専用

19.2 車両通行証



全駐車場
(担当部署にアクセスは制限される)



観戦エリア駐車場
サービスパーク駐車場
メディア駐車場



観戦エリア駐車場
サービスパーク駐車場
ラリーHQ/メディアセンター駐車場
STAGE ACCESS(タバードと共に)



サービスエリア
補助車両駐車場



観戦エリア駐車場
サービスパーク専用駐車場



20. 医療及び安全サービス



20.1 緊急電話番号

ラリーHQ の開設時間中は HQ の代表電話番号にバイリンガルのオフィシャルを配置いたします。

緊急時の連絡先は以下の通りです：

火災および救急車:	119
警察:	110

厚生病院は帯広市中心部、市役所の向かい側に位置しております。同病院に対しては、プログラムに沿ってラリーの概要を説明してあります。また、英語を話すスタッフも勤務しています。北愛国サービスパークに最寄りの病院は北斗病院です。これらの病院の連絡先は下記の通りです：

医療機関名	電話番号	住所
帯広厚生病院	0155-24-4161	帯広市西 6 条南 8 丁目 1
北斗病院	0155-48-8000	帯広市稲田町基線 7 番地 5

以下は、ラリーのルートにある主要な医療機関の場所と連絡先です：

医療機関名	電話番号	住所
帯広厚生病院	0155-24-4161	帯広市西 6 条南 8 丁目 1
帯広協会病院	0155-22-6600	帯広市東 5 条南 9 丁目
帯広第一病院	0155-25-3121	帯広市西 4 条南 15 丁目
北斗病院	0155-48-8000	帯広市稲田町基線 7 番地 5
帯広徳洲会病院	0155-32-3030	音更町木野西通 14
北見赤十字病院	0157-24-3115	北見市北 6 条東 2 丁目
北見脳神経外科病院	0157-26-8800	北見市三輪 36 - 1
陸別町国民健康保険関寛斎診療所	0156-27-2135	陸別町陸別東 2 条 3 丁目
足寄町国民健康保険病院	01562-5-2155	足寄町南 2 条 3 丁目
本別町国民健康保健病院	01562-2-2025	中川郡本別町西美里別 6-8

救命救急センター設備がある病院は太字で表記

夜間、休日に開業している病院は北海道救急医療情報案内センターに照会してください。

北海道救急医療情報案内センター	
フリーダイヤル	0120-20-8699
携帯電話・PHS	011-221-8699
URL	http://www.qq.pref.hokkaido.jp/qq/qq01.asp (日本語) http://www.qq.pref.hokkaido.jp/qq/qq01fngsp.asp (英語)

薬局と歯科医院はセクション 21.8 のビジネスディレクトリーに掲載されています。

レッカーサービス、トランスポーターはセクション 21.8 のビジネスディレクトリーに掲載されています。



21. 総合案内



21.1 概要

空港:	羽田空港からは日本航空がとちち帯広空港へ毎日4便運行しています。2011年3月27日より北海道国際航空 (AIR DO) が就航いたしました。1日3便の運航になります。空港から帯広市街への移動にはシャトルバス (1,000円) があり、所要時間は約40分です。また、タクシー・レンタカーも空港ですぐに手配できます。
鉄道:	帯広駅にJR北海道の特急列車が運行されています。所要時間は札幌駅から約2時間20分。新千歳空港から約2時間10分。
現金:	<日本語版では省略します>
通貨:	<日本語版では省略します>
標高:	サービスパーク : 40m リクベツサービス : 217m スペシャルステージの平均 : 369m
電気:	<日本語版では省略します>
大使館・領事館:	<日本語版では省略します>
国際電話:	<日本語版では省略します>
携帯電話:	<日本語版では省略します>
営業時間:	<日本語版では省略します>
人口:	<日本語版では省略します>
祝日:	<日本語版では省略します>
降水量(帯広):	9月平均 : 138.1mm
日の出:	(9月26日) 05時13分 (情報 : http://keisan.casio.com/)
日の入:	(9月26日) 17時14分 (情報 : http://keisan.casio.com/)
税金:	<日本語版では省略します>
気温(帯広):	9月 : 最高気温 : 21.5°C、最低気温 : 12.1°C、平均気温 : 16.3°C
時間帯:	<日本語版では省略します>
チップ:	<日本語版では省略します>
ビザ / 査証:	<日本語版では省略します>
水:	通常の水道水は飲むことができます。ホテルの中にはリサイクル・ウォーターを使用しているところもありますが、その場合は明記されています。

21.2 車両レンタル-乗用車、トラック

ラリー北海道のオフィシャルレンタカー会社は、ニッポンレンタカーです。

以下のURLよりお申し込みの方は、ラリー北海道関係者限定特別優待料金での予約を行う事が出来ます。

https://www.nrh.co.jp/charge_v3/ja.shtml?id=PBBCUH15SG (日本語版)

https://www.nrh.co.jp/charge_v3/en.shtml?id=A12KAFGLRR (英語版)

とちぎ帯広空港店	0155-64-5065
帯広駅前店	0155-22-0919
千歳空港	0123-26-0919

21.3 航空会社

日本航空 (JAL) 国内線	東京	03-5460-0522	
日本航空 (JAL) 国際線	東京	03-5460-0511	
全日空 (ANA) 国内線	東京	03-6741-8800	
全日空 (ANA) 国際線	東京	03-6741-6685	
エールフランス航空	東京	03-5767-4143	
エア・インディア	東京	03-3508-0261	
ニュージーランド航空	東京	03-5521-2770	0120-300-747
アリタリア航空	成田	0476-32-7811	
アメリカン航空	東京	03-3298-7677	
ブリティッシュエアウエイズ	東京	03-3298-5238	
キャセイパシフィック航空	成田	0476-32-7650	
フィンランド航空	東京	03-3222-6801	0120-700-915
ルフトハンザドイツ航空	成田	03-4333-7656	0120-051-844
マレーシア航空	東京	03-5733-2111	
カンタス航空	東京	03-6833-0700	0120-207-020
スカンジナビア航空	東京	03-5400-2331	
シンガポール航空	東京	03-3213-3431	
タイ国際航空	東京	03-3503-3311	
ユナイテッド航空	東京	03-6732-5011	
ヴァージンアトランティック航空	東京	03-3499-8811	

サービスパークとHQが設置される帯広市への行き方は以下の通りです。

東京／成田空港から羽田空港へ：

成田国際空港から羽田空港までのエアポートリムジンバスが利用できます。運賃は3,100円です。羽田空港で日本航空へ乗り継ぐ場合は、第1ターミナルで降りてください。標準所要時間は65～85分です。

東京／羽田空港からとちぎ帯広空港へ：

羽田空港からとちぎ帯広空港へは毎日7便のフライトが運航されており、うち4便は日本航空によるものです。これらのフライトは羽田空港第一ターミナルからの出発になります。残りの3便はAir Doによって運航されているもので、こちらは羽田空港第二ターミナルからの出発になります。

札幌／新千歳空港から JR 帯広駅へ：

列車でお越しの方は、新千歳空港から約 3 分後の南千歳駅で特急に乗り換えて、帯広駅で下車してください。運賃（片道）は約 6,000 円です。

札幌／新千歳空港から車で帯広へ：

車でお越しの方は、高速道路の新千歳空港 IC から道央自動車に乗り、札幌方面に向かってください。約 9km 先の千歳恵庭 JCT にて道東自動車道に入り、標識に従って帯広方面に約 140km ほど進んでください。帯広 JCT では左に入り、帯広・広尾方面に進んでください。北愛国サービスパークに最寄りの IC は帯広川西 IC です。

とち帯広空港から帯広市内へ：

到着便および出発便に合わせて、空港と帯広市内のホテルを結ぶシャトルバス（運賃：1,000 円）が運行しています。バスの発車時刻は各航空機の到着時刻の約 15 分後です。タクシーやレンタカーも空港で手配することができます。所要時間は約 40 分です。

帯広から HQ へ：

HQ が設置される十勝オーバル管理棟へは JR 帯広駅より車で約 10 分、とち帯広空港から車で約 40 分です。

21.4 コピーサービス

(株)ウィネット	0155-25-1211	(帯広駅0.56km)	西5条南9-2-16
(株)テクノネット	0155-26-4500	(帯広駅0.91km)	大通南4-20-1
(株)ノブ / 複写事業部	0155-26-6600	(帯広駅0.91km)	大通南4-20-1
(株)十勝マイクロ	0155-24-2171	(帯広駅1.11km)	東4条南13-19
(有)太陽コピーセンター	0155-23-1663	(帯広駅0.88km)	東1条南6-10
ワット	0155-22-0810	(帯広駅0.56km)	西5条南9-2-16
杉原事務処理センター	0155-25-1509	(帯広駅0.53km)	西5条南10-28
東京丸勝	0155-21-5864	(帯広駅1.06km)	西2条南2-19-2

帯広市街及び周辺には、ローソン、セブンイレブン、セイコーマートといったコンビニエンスストアが多くあります。ほとんどの店は 24 時間営業で、店内には銀行 ATM、コピー機が設置されています。

21.5 電話

携帯電話

日本の携帯電話のネットワークは独特のため、世界で一般的な GSM 方式の携帯電話は日本国内では使用できません。

一部ローミングサービスによって使用できる場合もありますが、ご自身の携帯電話の機種および契約会社について事前にご確認下さい。

■空港でのレンタル及びローミングサービス

SoftBank Global Rental	
日本語サイト	http://www.softbank-rental.jp/inbound/
英語サイト	http://www.softbank-rental.jp/e/
JAL-ABC	
日本語サイト	http://www.jalabc.com/rental/domestic_jp/

英語サイト http://www.jalabc.com/rental/domestic_eng/

■携帯レンタルショップ

国際空港内	
成田空港	http://www.narita-airport.jp/en/guide/service/list/svc_19.html
関西空港	http://www.kansai-airport.or.jp/en/service/rental/index.html#_02

公衆電話 <日本語版では省略します>

インターネット接続 <日本語版では省略します>

21.6 警備会社

帝国セキュリティ(株)	帯広市西 2 条南 4 丁目 8-1 ぜんりん 24 ビル	TEL0155-22-5519
北海道中央警備保障(株)	帯広市西 6 条南 6 丁目 3 ソネビル 2F	TEL0155-23-3084
三和警備(有限)	帯広市西 5 条北 2 丁目 7-4 八重洲ビル 1F	TEL0155-22-0511
セコム(株)	帯広市西 6 条南 6 丁目 3 ソネビル 1F	TEL0155-26-1500

21.7 タクシー

大一ハイヤー	帯広市西 9 条南 10 丁目	0155-21-6151
日の丸交通	帯広市西 19 条南 1 丁目	0155-36-5111
まりもハイヤー	帯広市大通南 17 丁目	0155-23-8181
帯広ハイヤー	帯広市西 19 条南 1 丁目	0155-33-8844
中央タクシー	帯広市西 7 条南 4 丁目	0155-23-4141
東洋タクシー	帯広市西 18 条南 2 丁目	0155-33-3939
十勝観光ハイヤー	帯広市西 19 条南 1 丁目	0120-34-9595

21.8 ビジネスディレクター

歯科医院		
つがやす医院	帯広市西 10 条南 9 丁目	0155-21-2002
十勝歯科保険センター	帯広市東 7 条南 9 丁目	0155-25-2172 時間外緊急治療のみ

薬局		
ツルハドラッグ 帯広南店	帯広市西 5 条 18 丁目 3	0155-20-3533
ツルハドラッグ 稲田店	帯広市稲田町南 9 線西 9	0155-49-2066
ツルハドラッグ 札内店	幕別町札内共栄町 163	0155-20-3825

レッカー / トランスポーター			
ランドマーク 33	帯広市西 2 条南 33 丁目	0155-48-4616	0120-747-110
尾畑商会	帯広市西 20 条北 2 丁目	0155-33-3900	0120-494-988
前田自動車工業	本別町	01562-2-3002	
ボディショップ国井	足寄町	01562-5-4607	
松井商会	士幌町	01557-6-2153	

家電量販店 / コンピューター		
ヤマダ電機 帯広店	帯広市西 13 条北 1 丁目	0155-58-4080
100 満ボルト フレスポ本店	帯広市稲田町南 9	0155-48-3939
ハラデンキ 本店	帯広市大通南 12 丁目	0155-22-5522

Car 用品		
ホームックスーパーデポ	帯広市稲田町南 9 線西 9	0155-49-1101
イエローハット	帯広市西 5 条南 16 丁目	0155-26-1680
オートバックス	帯広市西 6 条北 1 丁目	0155-23-5500

フロントガラス		
十勝ガラス	帯広市西 4 条南 1 丁目	0155-22-6161
北硝子	帯広市西 6 条北 1 丁目	0155-24-3246

窒素・酸素ボンベ		
北海道エア・ウォーター	帯広市西 22 条南 1 丁目	0155-37-1181 帯広産業営業所

21.9 レストランガイド

店名	住所&TEL	ジャンル	料金	定休日
かけ村	大通南 11-11 0155-27-6100	和中華居酒屋	2	日曜日
イージーダイナー7026	西 2 条南 8 0155-23-8875	宴会料理、カレー	2	日曜・祝日
海へ	西 1 条南 9 0155-20-2485	居酒屋	1-2	
かかし	西 2 条南 10 0155-25-5911	居酒屋	1-2	日曜日
はげ天	西 1 条南 10-5 0155-23-4478	天ぷら、寿司、豚丼	1-2	年中無休
辰巳寿し	西 1 条南 11 0155-24-6665	寿司	2	日曜日
鳥せい 中央店	西 1 条南 10-13 0120-73-2389	焼き鳥、鳥料理	1-2	第 1・2 日曜
ぶた丼ぱんちょう	西 1 条南 11-19 0155-22-1974	豚丼	2	月曜日
長寿庵	大通南 9-15 0155-22-5007	蕎麦	1	
みすず	西 2 条南 8-20 0155-23-4706	ラーメン	1	水曜日
あんじゅ	大通南 9-15 0155-26-5464	焼肉	1-2	
平和園 帯広店	大通南 12-1 0155-22-6151	焼肉	1-2	水曜日
北の屋台	西 1 条南 10	バラエティ(屋台村)	1	
テスタロッサ	大通南 10-19 0155-27-8866	イタリアン	1-2	日曜日
マンマピッツァ	西 1 条南 10 0155-23-4523	イタリアン	1-2	日曜日
アルデンテ	西 3 条南 17-8 0155-22-9850	イタリアン	1-2	日曜日
アルペスカ	西 1 条南 12 0155-28-5663	イタリアン	2-3	
ペペサーレ	大通南 10-1 0155-28-5360	イタリアン	1	年中無休
函館あかちようちん	西 1 条南 9-9 0155-22-2537	居酒屋	1-2	
十勝ビール	西 1 条南 9-6 0155-26-4141	ビール	2	年中無休
ランチョ・エルパソ	西 16 条南 6-13 0120-33-8683	ハム、ソーセージ	2	水曜日
スパイスガーデン	大通南 11-6 0155-26-5767	スリランカ料理	2	
赤唐辛子	西 1 条南 11_2F 0155-22-8707	ホット&ガーリック	2	日曜日
旬菜広間びさん	西 5 条南 19-7 0155-67-0900	居酒屋	1-2	

料金： 1 = メインディッシュ各皿につき 1,000 円以下； 2 = メインディッシュ各皿につき 1,000 ~ 3,000 円； 3 = メインディッシュ各皿につき 3,000 円以上

バーおよびパブ

日本国内のどの市町村へ行ってもそうであるように、多数のカラオケやバーがあります。以下は、選りすぐりの西洋スタイルのバー／パブです。

店名	住所&TEL	説明
ロンドンパブ チェルシー 0155-27-0888	西 1 条南 10 丁目 ロイヤルプラザビル 1F	英国風パブ
Shot Bar Lovers ラヴァーズ 0155-26-8150	西 1 条南 11 丁目 ホテルパコ 13F	眺めが最高な最上階のバー。 店名でひかないように！
米風 0155-27-1291	大通南 12 丁目 1	カジュアルなバー
Galway 0155-20-5211	西 2 南 11 丁目	アイリッシュ風パブ。外国人に人気。 キャッシュオンデリバリー
カモン(歌夢音) 0155-25-4545	西 2 条南 10 丁目 16_2F	ライブハウス